

愛知県基幹的広域防災拠点事業進捗状況等説明会【質疑応答】

※以下の質疑応答には、個人が特定できるような質問及び回答は含んでおりません。

令和5年9月

No	項目	開催日	質問事項	回答者	回答
1	施設配置等	9月24日	消防学校の周辺景観への影響はどのように考えているか。	県	要求水準書では景観についても配慮することを求めている。
2	用地について	9月24日	県が取得済みの用地の草が繁茂してしまっている。いつ草刈りをしたのか。	県	工事施行に合わせ主に7~9月実施した。今後は現在発注している箇所に加え、必要な箇所があれば随時対応していく。
3	造成(防災拠点)について	9月24日	耕作地付近に工事関係車両が停車しており、中に人が乗ったまま何もせず動いていない。しっかりと指導していただきたい。	県	今後対応させていただく。
4	調整池(防災拠点)について	9月24日	防災拠点の調整池の具体的な工事方法について説明をお願いしたい。	県	もう少し後になるが工事案内、掲示板等を活用しながら、具体的な工事方法についてお示ししていく。
5	大山川洪水調節池(河川計画)について	9月24日	大山川調節池の効果はどれくらいのものか。	県	1時間あたり63ミリの雨(10年に1度の雨)まで対応することができるものになっている。
6	大山川洪水調節池(河川計画)について	9月24日	大山川調節池にはどのくらいの頻度で水が流入するのか。	県	シミュレーションでは、おおよそ7年に1度調節池に水が入る予定になっている。
8	用地測量について	9月24日	境界立会は12月上旬となっているが、平日しか立ち会うことはできないのか。	県	基本的に平日で設定させていただく。お仕事等で平日に予定がある方については、ご都合の良い時で調整させていただく。
9	大山川洪水調節池(河川計画)について	9月24日	大山川調節池への流入は、堤防の高さからどの程度低いところから開始するのか？50メートルほど下流では堤防の高さが低い部分がある。その点を考慮しているか心配である。	県	堤防の高さが標高11.5メートルに対し、越流高が9.2メートルなので、堤防の高さから約2メートル下から池に水が流入する。
10	大山川洪水調節池(河川計画)について	9月24日	大山川調節池はシェルター等、多目的に使えるよう工夫してほしい。	県	調節池は水を貯めるだけの設備になるため、池内の活用は考えていない。
11	用地について	9月24日	公園、学校、河川事業の用地取得状況が発表されたが、道路事業は含めないのか。	県	道路のような県で購入する必要がない用地は含めていない。県で購入する土地の13.6ヘクタールを基準にして取得率をお示ししている。
12	用地について	9月24日	事業は1年延長されるが、用地取得は23年度までという理由を説明していただきたい。	県	大規模災害が発生した際、すべての施設が完成していなくても、盛土造成が完了していれば応急的にも活動拠点として利用していきたいため、23年度までに土地を取得したいということがある。また、設計・工事を進めるにあたって、早期に事業者へ土地の引き渡しを進めていく必要がある。
13	用地について	9月24日	国の規定で、用地取得率が80%を超えた際には収用の方向性で進めるようにとある。この点を説明してもらいたい。	県	規定はその通りだが、80%というのはあくまでも目安であるため、県としては、防災拠点とともに公園等の皆様に親しみやすい施設の整備を進めるため、任意交渉にて皆様にお譲りいただけるよう努めていく。

愛知県基幹的広域防災拠点事業進捗状況等説明会【質疑応答】

※以下の質疑応答には、個人が特定できるような質問及び回答は含んでおりません。

令和5年9月

No	項目	開催日	質問事項	回答者	回答
14	税について	9月24日	用地取得は23年度までということだが、契約が24年度となったら税控除はされないということか。	県	税控除はされる。 23年度までに取得するという目標は県側の問題で、税とは無関係である。 しかし、事業進捗のため23年度までのご契約にご協力いただきたい。 なお、5000万の譲渡所得税控除が適用されなくなる一つの原因としては最初に取り等申し出があった日から6ヶ月というものがある。
15	調整池(防災拠点)について	9月24日	防災拠点の造成工事の詳細は分からないが、田畑の保水力を考慮しながら工事を進めないと住宅に雨水が溢れてしまう危険がある。対策をすべきだ。	県	調整池ができるまでの間、保水機能を発揮するものとして袋に土を入れたものを周りで囲んだ沈砂池を作っている。 今後の案内に情報を入れていきたいと思う。
16	環境について	9月29日	拠点計画区域内で野生動物を確認している。環境への配慮についてどの程度考えているのか。	県	PFI事業の要求水準書でSDGsへの対応を求めている。
17	その他	9月29日	本町は良い意味で田舎らしさがあり、それを気に入って住んでいる方も多い。 生活環境が変わるため、豊山町から出ていかななくてはいけない人もいる。 そのような人への対応は。	県	そのようなことにならないように事業を進めていく。もしそのような人がいれば町と協力し相談体制を検討していく。
18	大山川洪水調節池(河川計画)について	9月29日	大山川調節池の工事が進み、神明公園という4ha強の雨水を貯める所がなくなってしまう。 工事中は公園の調整池機能がなくなるが、どうするのか。	県	保全調整池の機能は、その代替を担保できるよう工事で対応する。
19	道路計画について	9月29日	南側ラウンドアバウトの円を小さくして工事を進めることはできないか。	県	車両の大きさ、スピード等を考慮した上で道路の構造、幅、長さ、必要な回転半径等が法律に基づく基準で決まっている。 現行が安全な道路とするための最良の案だということでご理解いただきたい。
20	埋蔵文化財について	9月29日	埋蔵文化財の話は知らなかった。 出土したものはどこに展示するのか。	県	現在、青山神明遺跡で本発掘調査をするとともに、建物が建つ予定地で試掘調査もしている。 価値のあるものが出てきた際には、展示の方法について検討する。
21	大山川洪水調節池(河川計画)について	9月29日	不発弾の話は知らなかった。 不発弾がある見込みなのか。	県	ターミナルビル工事の際に不発弾が発見された過去があり、今回も空港の近くを深く掘るため、念のため不発弾調査を行っている。
22	造成(防災拠点)について	9月29日	水田と神明公園による自然のため池で貯めていた雨水が、新しくできる調整池の量で足りるのか。	県	従前の状態より流れ出る水が多くなるように容量は計算している。 また、造成をすり鉢状にして施設の外に雨水が流れ出ないように計画している。